

弓道いばらき

平成11年9月第21号

発行所 那珂郡東海村
村松 1292-2
茨城県弓道連盟
電話 (029-282-3580)

感謝と期待

茨城県弓道連盟会長 関 宗長



躍進する県弓連

弓友、会員の皆様お元気ですか。お蔭様で、県弓連の運営活動もたいへん円滑に前進しており、役員各位のお骨折りと、会員各位のご精進、ご努力によるもので、誠に同慶にたえません。

特に、今年は、全日本弓道連盟創立五十周年に当たり、第五十回全日本弓道遠的選手権大会を、水戸の武道館で開催、本県連が主管し、大成功に終始し、大会関係者及び出場選手諸君に深い感銘を与え、賞讃される大会運営が出来、本県弓界の面目躍如たるものがありました。

大会運営の見事な成果は、決して一朝一夕にできるものではなく、理事長はじめ、会員各位の日頃の精進と一致協力の賜ものであります。さて、わが県連の現況をみますと、会員数一、一四六名、支部数七五(全国ランクで十位)、範士五名、教練士、一一五名(二四位)、全弓連名誉会員九

九名(三位)。機関誌「弓道」購読者数は三六一名(三位)。平成十年度優秀地連総合順位(七位)など、すべてが安定的に充実して参りました。

県連運営の最もすぐれている点は、正副会長のもと、理事長を主軸に、総務部、指導部、選手強化部、競技部、審判部、施設部の各々が、部長、部員一丸となり業務執行の責任をもって、万全の活動をしていることです。県連全体の事業執行に当たっては、勿論、代議員会(総会)、理事会決定の事業方針、計画、予算に基づき、執行役員会も随時開催し、深夜に及ぶまで協議を行い、詳細な成案を得ています。役員各位の誠心誠意のご尽力には、敬服いたします。

なお、今年は、特に創立五十周年を記念して、県弓連の記念誌を編集し、発行すべく、県連創立五十周年記念編集委員会を発足しました。

しかし、社会の急激な変化、生活の多様化や小字化の世相の中で、弓道も例外なく困難な課題が山積しています。

私は今、全弓連の役員として、連盟の重要な会議に参画していますが、「今こそ、伝統武道として発展してきた弓道の本質を見極め、弓道人が弓道界発展に取り組みねばならぬ」ことの重要性を鴨川会長が、熱心に提唱され、先頭にたっていることに深く共鳴

しております。

若い人や初心者、或いはスポーツとして、趣味として、弓道に入ってもよいと思いますが、少なくとも、五段以上の弓道人は、深く弓道の将来に想いを注いでいただきたいと存じます。

鴨川先生の言葉を借りるなら、「弓道は、勝負、勝敗に心を奪われることなく、自らを失うことなく、礼節を尊び、相手を思いやる心の豊かさを失いたくない」

「弓道の段位は、力量の進歩状況を知ることであり、称号は、弓道人として磨く段階のプロセスを示すもので、絶対でないことを知るべきである」と。

ご案内のように、弓道の段位は、射型射術、体配、上達するに従って射品、射芸の錬達の度合いを基準とし、弓道の技術の向上を示すものです。

称号は、志操、指導力、人格、技能、識見、学識、教養、及び実力などの資格と、功績の有無が評価されるものです。

即ち、段位はその人の弓道研鑽、錬磨の実力を評価し、称号は、研鑽錬磨の実力を備え、かつ功績顕著な会員の名誉を表彰するもので、それが決して終点として固定的なものではない。つねに出発点と考えられたいのです。

日常生活が備わらなければ、これは無に等しいのです。

改めて言うまでもなく、日本の弓道は技の巧拙、的中の有無などの技術のみを云々するのではなく、弓を通して、交友や情操が成長し、その徳性を向上発揮させることが大切です。

最近、全日弓連の幹部の中で話題になることですが、高段者の中には、そこに到達するまでは、立派な射士だったが、今では、もう一歩研究を要すると言われる方がいかに多いかも事実です。

高段者になるに従っておちいり易いことに、競技本意で基本に甘い。自己研修のみ、独善的で協調性なし。自我強く、特に不遜の態度あり、謙虚さを欠く、全てに消極的、自己満足など……。審査員の見えざるところの眼は、案外厳しい。注意してくれる心の友を持ちたいものです。

「実れば実る程 頭をたれる稲穂かな」

私どもは、弓道人として伝統ある弓道を将来に伝承する責務があり、単なる「弓引き」でなく、弓道人としての全人格を養い、後輩を指導し、弓道振興に寄与されたい。最も大事なことは、親睦、融和、目標に向かって大同団結、協力一致の心掛けです。心からお願いたします。

全日本弓道連盟理事
関東地域弓道連盟連合会長

弓道指導を振り返って

副会長 柴田 猛

大学を卒業するとき、進路をどうするか企業にするか、教職に就くか迷っていた。高校時代の恩師に相談したところ、教員でも企業でも君なら大丈夫との話であった。最後には、地元にしたほうがよいとの父の勧めもあり教員になる。

自己の進路の決定は自分でと生徒に話している自分を見る時、当時のことが思い起こされる昨今である。大学生を送っているときから、弓道を将来に亘って続けていこうと心に強く決めていた。何処に就職して自己実現に結びつけるかの問題であり、それが教員の立場になったにすぎなかった。

教員になるに当たって次のことを決め、そのとおりはば達成できたと思っ
ている。

- ・弓道をとおしての人づくり。
- ・落ちこぼれの生徒とできるだけ接する。
- ・夢と感動を与える。
- ・部活動等で係わりのあつた生徒に、出会えて良かったと思える生活を。
- ・全日本弓道選手権大会に出場する。
- ・思えば随分大それた目標に感じるが、いま振り返ってみると、全日本弓道選手権大会で優勝、八段範士、生徒はインターハイ、国体、関東大会で団体、個人とも優勝するなど、ほぼ目標を達成できたと思っっている。このことは、高校時代の恩師からいただいた色紙に「いつでもどこでも、人と人との関係は正しくありたいもの」とあり、



この言葉がわたしの人生の基本的な考え方になったものと感謝している。

弓道の良さは、自分との戦いの中にある。自分に打ち勝つたときに勝利がある。セルフコントロール・克己心が強く要求される。個人競技とみられがちだがチームワークが要求される。他人のために働く気持ちが必要される。

- ・指導者として心掛けたことは、
- ・部員全員の性格の把握。
- ・同じ目線で接する。
- ・琴線に触れる語らいを持つ。
- ・信頼関係の確立を図る。
- ・人、道場等すべてのものへ感謝の心を持つ。

人としての生き方、在り方の指導。
・チームワークを大切に。
・ヤル気を出し向上心を奮い起たせる。

ライバルを持たせ向上心を高める。
・ほめてから指示、指導。

- ・目標の設定(全体・学年・一人一人)。
- ・範示ができるよう射技の研鑽に努める。
- ・各人に合った指導法の工夫・研究。
- ・いずれにしても、試合が始まれば生徒の手にすべてをまかせる以外に策はない。普段の稽古に指導者の意図が伝わり、それを実行できる選手を育てることに心がけてきた。できる限り生徒との接触を持ち最大漏らさず生徒一人一人の情報を集めるとともに、選手になれない部員たちのやる気を育てることに配慮した。また、指導者は絶対であることを部員が常に認識しているように指導することにも心がけた。

団体戦には強いが個人戦には弱い生徒等、あるいは管理されて力を発揮できる人、自己管理でも力を発揮できる人など、各人の素質を見極め指導に当たってきた。私は、試合では管理弓道を実践してきたが、管理されている中で百%以上の力を如何にして出させるか、

指導者は模索しなければならぬ。そして私は、厳しさの中に楽しさが味わえる部活に心がけてきた。そのため、やらされている部活ではなく、生徒たちが自主的に活動できる雰囲気づくりに努めてきた。どんな素晴らしい指導方法でも、指導者の人柄でまったく生徒の受け取り方が違うことも必ずべきである。

最後に、何度も挫折しそうになりながら此処まで来られたのも、多くの方々のご支援によるところ大であるが、教員になりたてのころ、ある学校の先生から「名選手、名監督に非ずだ

よ柴田さん」と言われたこと。道場が北向きのため冬は寒く、南向きに替えて欲しいと校長先生にお願いしたところ「インターハイに出場したら直しましよう」と言われたこと。そして、故中野 慶吉先生から「弓道を通しての人づくりを」と言われたこと。この言葉を契機に、効果的な指導方法を模索しながら今に至ったと感謝している。

もし、この三つの出会いがなかったら、今の自分はなかったといつても過言ではないと思っっている。退職後は、自身で実践してきた弓道を一人でも多くの人に伝えられればと願っっている。

おめでとうございませう(定期・臨時・錬士中央審査)

平成九年度昇格昇段者

- 範士 関 宗長
- 錬士 手塚 栄、石川亜耶子
- 錬士 村越 紀久、福田 長作、円城寺賢一、長谷川 仁、村山 久行
- 七段 萩原 裕一
- 六段 助川 末廣、田口 雅子、川瀬 政人

平成一〇年度昇格昇段者

- 範士 柴田 猛
- 錬士 川瀬 政人、白石 直之、海老根芳江
- 錬士 飯岡 富男、郡司 武満、石井 誠、稲葉健次郎
- 八段 関 宗長、関根 村夫
- 六段 高橋 輝子、庄司 幸夫、稲葉健次郎、村越 紀久

謹んでお悔やみ申し上げます

- ##### 平成九年度追授
- 錬士 宮崎 一廣
 - 五段 小林 宥三
 - 六段 江畑 光一
- ##### 平成一〇年度追授
- 六段 後藤 康甫

東海村弓道教室の紹介

東海村弓道連盟は五支部で構成されており、第一期全盛時は各支部の活動が盛んな時で各支部員も若く、弓道に情熱と練習時間に余裕があった時のように思われます。その時代に連盟として力・気持を一つにして連盟を結成したことが今日の大きな発展の原動力になっていることと、思います。

連盟設立当初は、村内の三小学校へ出前出張の弓道教室を開いたり、小学生弓道スポーツ少年団を結成し弓道を通して、少年たちの健康と情操指導にとめてきました。また、県内の弓友に東海村に出掛けてもらい弓道を楽しんで貰おうと村松山弓道大会を実施する等の活動を行ってきました。これらの活動は、地味ではありますが永く続けるうちに、村民にも理解され東海村に二校ある中学校にも弓道場が建設され、また東海村宮弓道場も整備されました。これらが背景となり、一般の弓道教室も村の文化スポーツ財団が主催で隔年度定期的開催できるようになりました。受講生の募集は、村の広報誌を通じ、指導は東海村弓道連盟が受託する形態となっています。

高齢化時代の今、生涯学習に対する意識も高揚され、若い人、社会の一端を退かれた人などこれから弓道に親しもうとして広く応募者があり、平成四年度の第一回から今年で(平成一年度)第五回目の教室をむかえています。教室での指導者は、弓道連盟の四段以上の会員が担当し、弓道の基本を熱心に、そして親切に指導しています。指導員の人数も充分確保でき、用具類も中学校やスポーツ少年団等の用

具が関係者の好意により利用でき受講生は用具に関する負担がほとんどなく教室に参加できます。教室は週二日での一回の講習時間は二時間、一週間行い全時間数は二〇時間です。指導方針は、受講生の早く弓を引いてみたいと思う気持ちを尊重し、教室終了までの前を目標の指導にしております。弓道教室終了後弓道に魅力を感じ修練の継続を希望する人は村支部に、ま



と、組織を作るには永い年月が掛かり、また地味な努力が必要であると痛感します。

た、職場に弓道部のある人は職場支部に所属し、それぞれに弓道と取り組んでもらっています。

これら一連の成果で東海村支部も会員数が増え県弓連員名簿の内でも水戸・上浦に次ぐ会員数に達しています。東海村弓道連盟も現在第二期の良き時代を迎え、今年度、村宮弓道場の増設が確定し二年度は新しい弓道場で各種行事が開催出来ることになり楽しみにしています。こうして振り返る

と、組織を作るには永い年月が掛かり、また地味な努力が必要であると痛感します。

時の流れは徐々に感じますが、連盟結成後三〇年の歳月が経ちますと、当時二〇才代は、五〇才代に三〇才代は六〇才代に世代の交代もあり、各支部の状況も変化します。

平成四年以前に行った弓道教室は、終了後の受け皿がなかなか出来ず、教室終了後の定期練習の継続に苦労しましたが、現在は東海村支部も支部長を中心に各役員が一つにまとまり、定期練習を欠かさず継続し、また各種楽しい行事を行いながら、いつも二〇名以上の参加者にぎやかに併鑽や親睦に励んでいます。

幸い東海村弓道連盟は、良き指導者に恵まれ堅実に発展してきました。良い組織が出来ればその仲間に、事務処理の上手な人、手先の器用な人、豊富な知識のある人、多くの人脈を持つ人、努力を気持ち良く提供してくれる人など、色々な特技が揃い大きな力として結集されます。良き指導者の日ごとの信条である「捨我利楽」の元に会員は、仲間造りに励みそして、継続は力なり、良きものは残るを合言葉に、これからも弓道教室、村松山弓道大会、夏季合宿、少年弓道スポーツ教室等地味な活動を堅実に継続するつもりです。なお、連盟では現在小学生、中学生、高校生、一校とそれぞれ階層的に弓道の普及をと思っています。村内の高校に弓道部の誕生が見られ、おのびに、高校の弓道部誕生に、お手伝い出来ることがあればと思っています。そして、昨年から東海村弓道連盟の三〇周年記念誌発行のため編集

と、組織を作るには永い年月が掛かり、また地味な努力が必要であると痛感します。

委員会の発足させその準備に取り組んでいます。

東海村弓道連盟に、茨城県弓道連盟

平成九年度県外競技入賞者

- (一般)
 - 第三五回関東教職員弓道大会
 - 男子個人の部 優勝 根本 栄治
 - 団体の部 (優勝) 茨城Bチーム
 - 第二八回全日本教職員弓道選手権大会
 - 男子個人の部 第五位 白石 直之
 - 女子団体の部 第三位 茨城Aチーム
 - 第四八回全日本選手権大会
 - (大金、小野瀬、高野)
 - 男子個人の部 第四位 張啓 謙一
 - 第五二回国民体育大会関東ブロック大会
 - 成年女子 近三位、遠的三位、総合四位
 - 第四七回京都三十三間堂大会
 - 三段以上の部 第二位 松尾 牧則
 - (高体連)
 - 第四一回関東高校弓道大会
 - 女子個人 第六位 永瀬 結佳
 - 第七位 佐藤 葉子
 - 男子個人 第六位 笠間 悦男
 - 男子技能優勝 団体 石岡商業高校
 - 男子技能優秀 個人 大久保、坂本、石川
 - 第四二回全国高校総合大会
 - 男子団体ベスト8
 - 技能優秀 石岡商業高校
 - 第五二回国民体育大会関東ブロック大会
 - 少年男子 近四位、遠的三位、総合一位
 - 少年女子 近八位、遠的五位、総合七位
 - 第一六回関東高校弓道個人選手権大会
 - 男子個人準決勝進出者
 - 石川 勇生、田村 和則、富田 直史、中島 修一、久下沼晶

- 女子個人準決勝進出者
 - 中谷みづき、山田 理沙、壺井 美香、石津 優子
- 第五二回国民大会
 - 少年男子 近八位、遠的一位、総合二位

平成一〇年度県外競技入賞者

- (一般)
 - 第四五回全日本勤労者選手権大会
 - 第二位 三菱化学
 - (寺本、諸橋、富森、松井、川瀬)
 - 第三六回関東教職員弓道大会
 - 男子個人の部 第二位 栗田 克紀
 - 第五三回国民体育大会
 - 成年女子 近四位、総合八位
 - 第四九回全日本男子選手権大会
 - 第五位 張啓 謙一
 - 優秀賞 張啓 謙一、久保田 清
 - 第三一回全日本女子選手権大会
 - 優秀賞 市毛 道子
 - 関東選手権大会
 - 称号の部 第一位 張啓 謙一
 - 技能賞 張啓 謙一
 - 全弓連特別賞 張啓 謙一
 - 有段者の部 第二位 平戸 信行
 - 第五位 小堀 富男
 - 茨城
 - 第一七回関東選抜個人選手権大会
 - 女子の部 遠的二位 石津 優子
 - 遠的三位 粕谷 知美
 - (中体連)
 - 第二五回全国中学校通信大会
 - 第三位 倉田 浩平、松本 梢、増淵 美香

遠的選手権大会等の追憶

理事長 木村喜久雄



標記大会の茨城開催は一〇年度明け頃より打診があり、開催候補地に選定されたことを至極光栄に感じたことと同時に、一年度は全日選手権大会関東地域代表決定大会の開催も本県が当番地運として主管せねばならない状況とを考え合わせ、些か途方投首の態でありました。

しかし、多く会員諸賢はじめ茨城県教育庁等関係機関のご支援ご協力を頂き、無事その任を果たすことができ、関係を頂いた皆様方に感謝をもうしあげる次第であります。

特に、一〇年度に開催された静岡岡県主管の同大会を視察された曲山競技部長・関口施設部長の報告と的確な動きが準備の基幹となり、開会式開場・射場内外等の準備が競技役員の方々によって完璧なまでに整えて頂いたことは茨城県弓道連盟の力として、内外の関係者より高い評価をいただくことができました。

更に、会期中は悪天候ではありましたが、前担当の競技役員「機敏なる動き」によって競技が予定時間を寸分狂うことなく進行できたことに對

し、鴨川会長等中央の先生方よりご好評いただきました。関係担当各位に對し改めてご報告申し上げます。

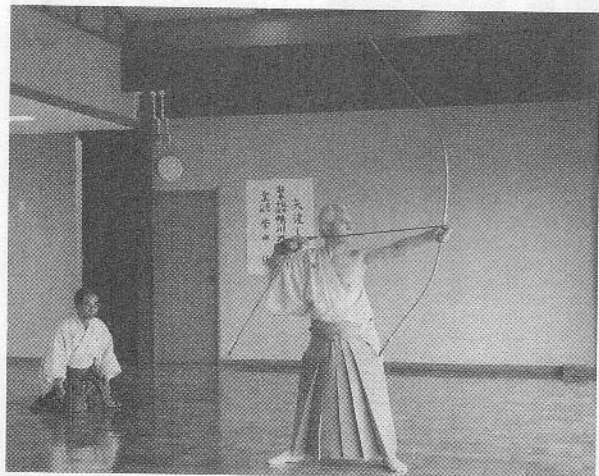
茨城県弓道連盟が標記大会を主管受託致す事は、県下全域の会員諸氏に運営上の直接的に関わりをいただき、高水準の遠的競技を多くの皆さんに学んで頂く好機であると目論だところでありましたが、運営費の枠のため水戸近郊に限定した競技役員委嘱となつてしまい、その盛上りの低さを感じたところでありました。

しかし、この度の大会は遠的場の拡張整備を生み、また、全国規模の大会運営に何時でも対応できるノーハウを蓄積できたことは、私どもの大きな収穫でありました。

二〇〇二年の茨城はワールドカップがあり、インターハイ開催が決定されています。インターハイの規模は国体を遙かに凌ぐものであり、高体連弓道専門部と共に今回の大会運営の経験の基にし、広くご協力をいただきながら成功へ導けるものと思っております。

七月二五日の全日本選手権関東地域代表決定大会の主管も終わり、茨弓連の張替 謙一選手がNo.1で選考され、茨弓連代表に決定されている久保田清・市毛 道子両選手と共に九月二三日・二六日の全日本選手権大会へ出場することになりました。活躍を期待して止みません。

今年度の残された茨弓連主催大会に恒例の中野杯・段位別・支部対抗と新設の新春射会が控えております。どの大会も日頃の自己修練の度合を確認できる場であり、弓友間の友好を深めて頂く機会でもあります。奮ってご参加くださるようご期待申し上げます。



全日本遠的選手権大会矢渡し(射手 鴨川会長、介添 柴田範士)

平成一〇年度 関東地域弓道指導者講習会に参加して

田口 雅子

三月六日(土)・七日(日)の一泊二日、山梨県甲府市の小瀬スポーツ公園弓道場で行われた関東地連の講習会に参加させていただきました。参加者は関東各地より五名ずつ(地連によつては男子のみ・女子のみという所もあったので男子四一名・女子九名)の五〇名でした。五錬と六錬はちょうど二五名ずつでした。講師は松沢 岳範士・増田 正美範士・石川 武夫範士の先生方、とても親身の御指導をいただきました。

第一日は、汗ばむような暖かさの中で、開講式後、初めに、主任講師の松沢範士より今回の講習会は、次の三つの事を中心に行う。

- 一、手の力を使わないで弓を引こう。
- つまり、体全体で引こう。
- 二、動作と呼吸は両輪であるから、息合いを使った動作を。
- 三、中筋の離れを目指して。

というお話がありました。続いて、松沢範士の射手。受講生の介添えで矢渡しが行われました。そして、増田範士より介添えの指導がありました。

夜の部は、山梨の方より差し入れの一升ビンのワインを堪能し、鍋はゴハンを入れて雑炊にして、最後まで楽しませていただきました。

第二日は、前日とはうって変わって肌寒い、お山は雪だろろうという天気になってしまいました。増田範士・石



向かって右側が筆者

川の講師はかなり辛口で、一日目とたいては変わっていないとのことでしたが、私の目から見れば、皆さんかなり射が変わったように見えました。また介添えをはじめ体配の面では茨城は他の県よりもしっかりと身についているように思いました。

講習会や試合などへの積極的な参加の少ない私は、大変申し訳ない事なのですが、喜んで、積極的にという参加ではありませんでした。でも、参加したことにより、かなりの収穫をいただけてきました。今後の弓道生活に生かして行きたいと思えます。ありがとうございました。心から御礼申し上げます。

審査部よりお願い

介川 達

審査部事務局窓口として、連盟会員各位に弓道いばらきの紙上をお借りして、お願い申し上げます。

一、審査申込みと締切日の厳守について(申込先)

県内

① 中学、高校(無指定と初段)

A 審査 一五日前締切審査部長

② 一般(中学、高校二段以上)

B 審査 一五日前締切審査部長

③ 五段(関東連合審査) 総務部長

一五日前締切

県外

五段	85 47
	11 4
	12.9 8.5

	級	初級	式段	参段	四段	計
受審者数	547	506	267	149	86	1555
合格者数	547	460	246	48	31	1332
合格率(%)	100	90.9	92.1	32.2	36.0	85.7

注 1. 級及び初段審査はAB審査の合計。
2. 五段は連合審査(水戸)結果上段は全体、下段は茨弓連会員を示す。

① 五段(関東連合審査) 審査部長

五〇日前締切

② 臨時中央審査

五〇日前締切

③ 中央審査

五〇日前締切

となっておりません。県外については、会長のコメント及び会計の審査料振込確認等の作業が終了して後に各地連審査担当者に送付されます。締切日ぎりぎりに記載項目等にエラーが見つかると、再提出となり間に合わなくなることがあります。

二、審査申込用紙と記載事項の注意

① 中学、高校生(黄色の用紙)県内

② 一般(無指定より四段まで)県内

専用

③ その他送付は支部一括が原則です。送付のとき宛名の左側にB審査申込・中央審査申込等の記載が

紙は良くない。

④ 中央(錬士、六段以上)現在二種類の書式がありますがどちらの用紙も使えます。

⑤ 県内はコピーしたものを受付けてますが原則的にはコピーの用紙は良くない。

⑥ 審査用紙に記載をする場合に用紙の左下に注意項目が書いてあります。必ず読んでから書いて下さい。

⑦ その他送付は支部一括が原則です。送付のとき宛名の左側にB審査申込・中央審査申込等の記載が

紙は良くない。

⑧ 中央(錬士、六段以上)現在二種類の書式がありますがどちらの用紙も使えます。

⑨ 県内はコピーしたものを受付けてますが原則的にはコピーの用紙は良くない。

⑩ 審査用紙に記載をする場合に用紙の左下に注意項目が書いてあります。必ず読んでから書いて下さい。

⑪ その他送付は支部一括が原則です。送付のとき宛名の左側にB審査申込・中央審査申込等の記載が

紙は良くない。

⑫ 中央(錬士、六段以上)現在二種類の書式がありますがどちらの用紙も使えます。

⑬ 県内はコピーしたものを受付けてますが原則的にはコピーの用紙は良くない。

⑭ 審査用紙に記載をする場合に用紙の左下に注意項目が書いてあります。必ず読んでから書いて下さい。

⑮ その他送付は支部一括が原則です。送付のとき宛名の左側にB審査申込・中央審査申込等の記載が

紙は良くない。

⑯ 中央(錬士、六段以上)現在二種類の書式がありますがどちらの用紙も使えます。

⑰ 県内はコピーしたものを受付けてますが原則的にはコピーの用紙は良くない。

⑱ 審査用紙に記載をする場合に用紙の左下に注意項目が書いてあります。必ず読んでから書いて下さい。

⑲ その他送付は支部一括が原則です。送付のとき宛名の左側にB審査申込・中央審査申込等の記載が

紙は良くない。

⑳ 中央(錬士、六段以上)現在二種類の書式がありますがどちらの用紙も使えます。

㉑ 県内はコピーしたものを受付けてますが原則的にはコピーの用紙は良くない。

㉒ 審査用紙に記載をする場合に用紙の左下に注意項目が書いてあります。必ず読んでから書いて下さい。

㉓ その他送付は支部一括が原則です。送付のとき宛名の左側にB審査申込・中央審査申込等の記載が

紙は良くない。

㉔ 中央(錬士、六段以上)現在二種類の書式がありますがどちらの用紙も使えます。

① 五段(関東連合審査) 審査部長
五〇日前締切
② 臨時中央審査
五〇日前締切
③ 中央審査
五〇日前締切
となっておりません。県外については、会長のコメント及び会計の審査料振込確認等の作業が終了して後に各地連審査担当者に送付されます。締切日ぎりぎりに記載項目等にエラーが見つかると、再提出となり間に合わなくなることがあります。

二、審査申込用紙と記載事項の注意
① 中学、高校生(黄色の用紙)県内
② 一般(無指定より四段まで)県内
専用
③ その他送付は支部一括が原則です。送付のとき宛名の左側にB審査申込・中央審査申込等の記載が

紙は良くない。
④ 中央(錬士、六段以上)現在二種類の書式がありますがどちらの用紙も使えます。
⑤ 県内はコピーしたものを受付けてますが原則的にはコピーの用紙は良くない。
⑥ 審査用紙に記載をする場合に用紙の左下に注意項目が書いてあります。必ず読んでから書いて下さい。

⑦ その他送付は支部一括が原則です。送付のとき宛名の左側にB審査申込・中央審査申込等の記載が

紙は良くない。
⑧ 中央(錬士、六段以上)現在二種類の書式がありますがどちらの用紙も使えます。
⑨ 県内はコピーしたものを受付けてますが原則的にはコピーの用紙は良くない。
⑩ 審査用紙に記載をする場合に用紙の左下に注意項目が書いてあります。必ず読んでから書いて下さい。

⑪ その他送付は支部一括が原則です。送付のとき宛名の左側にB審査申込・中央審査申込等の記載が

紙は良くない。
⑫ 中央(錬士、六段以上)現在二種類の書式がありますがどちらの用紙も使えます。
⑬ 県内はコピーしたものを受付けてますが原則的にはコピーの用紙は良くない。
⑭ 審査用紙に記載をする場合に用紙の左下に注意項目が書いてあります。必ず読んでから書いて下さい。

⑮ その他送付は支部一括が原則です。送付のとき宛名の左側にB審査申込・中央審査申込等の記載が

紙は良くない。
⑯ 中央(錬士、六段以上)現在二種類の書式がありますがどちらの用紙も使えます。
⑰ 県内はコピーしたものを受付けてますが原則的にはコピーの用紙は良くない。
⑱ 審査用紙に記載をする場合に用紙の左下に注意項目が書いてあります。必ず読んでから書いて下さい。

⑲ その他送付は支部一括が原則です。送付のとき宛名の左側にB審査申込・中央審査申込等の記載が

紙は良くない。
⑳ 中央(錬士、六段以上)現在二種類の書式がありますがどちらの用紙も使えます。
㉑ 県内はコピーしたものを受付けてますが原則的にはコピーの用紙は良くない。
㉒ 審査用紙に記載をする場合に用紙の左下に注意項目が書いてあります。必ず読んでから書いて下さい。

㉓ その他送付は支部一括が原則です。送付のとき宛名の左側にB審査申込・中央審査申込等の記載が

紙は良くない。

あると大変助かります。封筒裏面には氏名だけでなく自分の住所も必ず記載して下さい。
次にコピー用紙問題点を申し上げます。
一、綴紐用の穴がない
二、コピーの色がいろいろ(薄いの多い)
三、コピーの位置がずれている等
コピーの用紙も元の用紙と全く同じ形態が大原則です、お間違のない様に又パソコン等で作成された用紙も受付られません。用紙については日弓連一冊一〇〇枚綴五〇〇円です。弓具店にもあります一枚五円で分けてもらって下さい。

平成一〇年度の県内審査受審者数及び合格者数の一覧と平成九、一〇年度県内B審査の学科出題一覧を掲載します。参考にして下さい。

連絡先 千三二〇一〇八四一
水戸市西門町四七一一二
茨城県弓道連盟
審査部長 介川 達

TEL 〇二九一二四七七八五四七
FAX 〇二九一二四六一七三二二

二、あなたの弓道のどんなところが好きですか。
あなたは何を目標にして弓道を修練していますか。
あなたの射場の危険防止についてどうしていますか。
弓を始めた動機について述べよ。
弓道を学んで良かったと思うことは何ですか。

平成九、一〇年度 B 審査学科問題
一、あなたは弓道のどんなところが好きですか。
あなたは何を目標にして弓道を修練していますか。
あなたの射場の危険防止についてどうしていますか。
弓を始めた動機について述べよ。
弓道を学んで良かったと思うことは何ですか。
二、あなたが他のスポーツに比べて優れている点は何ですか。
三、弓道を修練して感じていることを述べよ。
四、弓道修練でああなたが得たものを述べよ。
五、弓道修練の利点を実生活にどのように応用したら良いと考えていますか。
六、一〇、巻薬練習の必要を理由を述べなさい。
七、五重十文字について述べなさい。
八、「大三」のとりかたの留意点を述べなさい。

二、射法八節を列記して「胴造り」について述べよ。
三、射法八節を列記して「空」について述べよ。
四、射法八節を列記して「離れ」について述べよ。
五、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
六、「身」の大切さを述べよ。
七、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
八、「息合」の重要性について述べよ。
九、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
一〇、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
一一、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
一二、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
一三、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
一四、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
一五、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
一六、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
一七、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
一八、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
一九、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
二〇、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
二一、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
二二、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
二三、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
二四、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
二五、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
二六、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
二七、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
二八、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
二九、射法八節を列記して「残心」について述べよ。
三〇、射法八節を列記して「残心」について述べよ。

平成9年度 県弓道連盟大会成績

月日	大会名	表彰	上位入賞者等			
			第一位	第二位	第三位	最高得点
4.13	勤労者弓道選手権大会 県予選	団体 個人 男子 女子 団体 個人	三菱化学 A 小泉民昌 高橋塚郷町 A 八渡高橋昌 高橋政信 尾橋政信 高川平山	航空自衛隊百里 沼野茂男 八郷町 B 清水野正 清佐野正 福永弘 石井知一 原佐知一 中松正	日立 A 日製 B 日立 A 小川新郡 木藤間 飯生 村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
4.20	県武道館親善弓道大会 春季大会	一般の部 受有者の部 団体の部 個人の部 男子個人の部 女子個人の部 団体優秀の部 個人優秀の部	八郷町 A 高橋昌 高橋政信 尾橋政信 高川平山 阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	沼野茂男 八郷町 B 清水野正 清佐野正 福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
4.27	遠の大会兼全日本 遠の選手権大会県予選	男子の部 女子の部 受有者の部 以上の部 三段以下の部	松尾敦信 高橋政信 高川平山 阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
5.25	県選手権大会	受有者の部 以上の部 三段以下の部	高橋政信 高川平山 阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
6.1		三段以下の部	高橋政信 高川平山 阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
6.22	県民総合体育大会	成年男子の部 成年女子の部 受有者の部 以上の部 三段以下の部	阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
9.15	第21回中野杯記念大会	成年男子の部 成年女子の部 受有者の部 以上の部 三段以下の部	明間橋俊 高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
12.7	第1回段位別大会	初段以下の部 二段以下の部 三段以下の部 四段以上の部 五段以上の部	高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
12.14	支部対抗		高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	

平成10年度 県弓道連盟大会成績

月日	大会名	表彰	上位入賞者等			
			第一位	第二位	第三位	最高得点
4.12	勤労者弓道選手権大会 県予選	団体 個人 男子 女子 団体 個人	原研東海 川瀬政大 小島敏和 星進喜	三菱化学 A 上原みゆき 曲山伊之吉 筑波山文 青野谷綾 曲山伊之吉 代田孝司 駒場孝人 川佐保田 久保田和裕 上田崎谷 塩樋谷原 樋智治	日立 A 日製 B 日立 A 小川新郡 木藤間 飯生 村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
4.19	県武道館親善弓道大会 春季大会	一般の部 受有者の部 団体の部 個人の部 男子個人の部 女子個人の部 団体優秀の部 個人優秀の部	小島敏和 星進喜 高橋政信 高川平山 阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	三菱化学 A 上原みゆき 曲山伊之吉 筑波山文 青野谷綾 曲山伊之吉 代田孝司 駒場孝人 川佐保田 久保田和裕 上田崎谷 塩樋谷原 樋智治	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
4.26	遠の大会兼全日本 遠の選手権大会県予選	男子の部 女子の部 受有者の部 以上の部 三段以下の部	高橋政信 高川平山 阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
5.31	県選手権大会	受有者の部 以上の部 三段以下の部	高橋政信 高川平山 阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
7.20		三段以下の部	高橋政信 高川平山 阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
6.21	県民総合体育大会	成年男子の部 成年女子の部 受有者の部 以上の部 三段以下の部	高橋政信 高川平山 阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
9.20	第22回中野杯記念大会	成年男子の部 成年女子の部 受有者の部 以上の部 三段以下の部	高橋政信 高川平山 阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
11.1	段位別大会	二段以下の部 三段以下の部 四段以上の部 五段以上の部 六段以上の部	高橋政信 高川平山 阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	
12.6	支部対抗		高橋政信 高川平山 阿部垣村悦好 今永中川裕 明間橋俊 高上中井久 桜網川波	福永弘 石井知一 原佐知一 中松正 小吉平佐川 戸藤瀬内 阿武高平 橋根高 大村久	日立 A 信瑞政村武 島瀬治司 新郡広遠明 飯生村田山 原瀬尾 上川長茂 高筑勝	

更なる向上を目指し
平成9年度及び、10年度の県内競

曲山伊之吉(競技部)
技大会は別紙の通りとなっています。
出場した、全選手の皆さん全力を尽
くして競技し、運営進行に矢取りにと
ご協力を頂きました。

亦地区当番として運営担当された皆
様、朝早くから準備し、終了後の後片
付けと大変ご苦勞を頂きました。
紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

果を表現し、希望と反省を基に更なる
競技力の向上を目指し、多数の参加を

されるよう、お願いいたします。

茨城県弓道年表 (七)

小野崎紀男

昭和三十三年

- 一月 一〇日 鈴木 源澄没す(七四)
- 一月 二六日 県弓連射初会
- 二月 一〇日 「月報」(県弓連 創刊)
- 三月 一六日 第四回県春季弓道大会
- 四月 三日 県北地区審査会
- 四月 六日 第二回県北弓道振興会
- 四月 一三日 大和村道会春季大会
- 四月 二〇日 中野 慶吉範士拜禮祝賀会
- 四月 二七日 県南地区審査会
- 四月 二九日 鹿島神宮弓道大会
- 五月 一一日 第四回大洗つづじ祭弓道大会
- 五月 一八日 県連南北対抗弓道大会
- 五月 二五日 高校弓道春季関東大会
- 六月 一三日 柴田 正没す(六四)
- 六月 二二日 佐藤子之吉没す(七〇)
- 六月 二九日 第五回勝田町民兼県下速の大会
- 七月 二〇日 第二回全国高校弓道大会
- 七月 二〇日 第一回県連夏季通信射会
- 八月 三日 第八回勝田町長杯五〇射会
- 八月 一七日 国体選手第二次選考会
- 八月 二四日 国体選手決定兼源平弓道大会
- 八月 二六日 第一回高校五〇射個人選手権大会
- 九月 七日 第九回関東実業団弓道大会(日立にて)

- 九月 一四日 日立市長杯弓道大会
- 一〇月 二二日 県弓道秋季大会兼国体選手壮行会
- 一〇月 二六日 県北地区審査会
- 一〇月 三〇日 第二回県北弓道振興会
- 十一月 一日 自衛隊創刊記念弓道大会
- 十一月 六日 国体選手慰勞射会
- 十一月 九日 愛宕神社奉納弓道大会
- 十一月 二五日 「茨大弓道部OB会」発足
- 十一月 二六日 笠間菊祭り弓道大会
- 十一月 二三日 県高校弓道秋季大会
- 十一月 三〇日 第二回県北弓道振興会
- 十二月 七日 戸塚 清八没す(八四)
- 十二月 七日 第四回茨城対東京親善弓道射会
- 十二月 二四日 「茨城県三道会」結成

昭和三十四年

- 一月 一一日 県連射初会
- 二月 八日 第二回県弓道通信射会
- 三月 二五日 第二回県北弓道振興会
- 四月 二二日 県弓道春季大会
- 四月 二六日 県北地区弓道審査会
- 四月 二九日 第三回県高校弓道春季兼関東大会予選
- 五月 一〇日 島田 政紀没す(七〇)
- 五月 一〇日 第五回大洗つづじ祭弓道大会
- 五月 一七日 県南地区弓道審査会
- 五月 二四日 水海道にて弓道審査会
- 六月 二七日 県高校総体兼全国大会予選
- 七月 五日 坂本・戸塚・島田先生追悼射会

- 七月 一九日 勝田市民弓道大会
- 八月 二日 矢野 傳没す(六四)
- 八月 二日 国体選手選抜大会
- 八月 一六日 茨城対東京親善弓道射会
- 八月 二五日 県高校弓道個人選手権大会
- 八月 三〇日 第九回勝田市長杯五〇射会
- 九月 四日 第一回国鉄弓道大会(於稲田)
- 九月 一三日 国体選手選考会
- 九月 二〇日 第二回県北弓道振興会
- 九月 二七日 県弓道教練士会
- 一〇月 四日 第五回県弓道秋季大会
- 一〇月 一八日 会県国体選手壮行会
- 一〇月 二五日 県北地区弓道審査会
- 一〇月 二五日 日立市長杯弓道大会
- 十一月 三日 笠間流鎗馬神事

- 一月 一〇日 広瀬 競没す(七二)
- 二月 一五日 北関東国立大学弓道大会(於茨大)
- 二月 二四日 県高校弓道秋季大会
- 二月 二九日 県南地区弓道審査会
- 二月 三一日 第三回茨大大学部対抗弓道大会
- 六月 二二日 第一〇回勝田市長杯弓道大会
- 七月 二八日 菊池 八郎没す(七二)
- 七月 三一日 国体選手選考予選
- 八月 一四日 国体選手選考決定戦
- 八月 二二日 第一〇回勝田市長杯弓道大会
- 八月 二五日 志村 国作没す(六八)
- 一〇月 一六日 県弓道秋季大会兼国体選手壮行会
- 一〇月 三〇日 県北地区弓道審査会
- 十一月 三日 水戸三高弓道場竣工弓道大会
- 二月 九日 愛宕神社祭礼弓道大会
- 二月 一三日 県南地区弓道審査会
- 二月 二三日 県高校弓道秋季大会
- 二月 四日 茨城大学部対抗弓道大会

報 第六号



茨城県弓道連盟
 昭和三十三年七月十日發行

県内地方弓道大会報告

土浦桜まつり弓道大会

と き 四月三日(学生の部)
四月四日(一般の部)

ところ 土浦市立武道館弓道場
参加者数 中学生七五名 高校生
二二〇名 一般一〇四名

表 彰

中学の部

- ① 泉田 文香(竹来)
- ② 松本 莉沙(竹来)
- ③ 柳生 文裕(竹来)
- ④ 高山 明菜(竹来)
- ⑤ 柳生 恵美(竹来)

高校女子部

- ① 筒井 香里(土浦二)
- ② 岡野 弥幸(土浦工)
- ③ 小野寺由美(土浦一)
- ④ 浜田 慶子(藤代)
- ⑤ 菊池 佳代(土浦三)

高校男子部

- ① 宇津木保志(八千代)
- ② 芽場 淑人(土浦二)
- ③ 佐生 友行(土浦一)
- ④ 佐山 和良(八千代)
- ⑤ 中村 友和(茨城東)

一般の部

- ① 小野田文夫(下館)
- ② 福山 弘(藤代)
- ③ 田中 功平(流経大)
- ④ 高橋 平吉(神栖)
- ⑤ 浜野 悦子(下館)

第二八回村松山弓道大会

と き 四月四日

ところ 村松山虚空蔵堂晴風の広場

競技内容 四ツ矢一回余興的(概制)

参加者数 小学生二〇名中学生一七
一名高校生一九四名一般
六六名

表 彰

小学生の部①海老沢一樹

- ② 北原 聡之
- ③ 中島 淳

射詰 優勝 射部 誠(日立一)

総合優勝 射部 誠(日立一)

② 平田 充(竹来中)

③ 木名瀬 健(東海中)

第九回山ざくら弓道大会(新治)

と き 四月一日

競技内容 射詰四ツ矢一回余興的
(金の花ぶぶきの他)

表 彰

射詰 優勝 岡野 良雄(土浦)

射詰 優勝 古明地勇一(つくば)

準優勝 生井 栄作(下館)

③ 浜野 悦子(下館)

④ 岡野 良雄(土浦)

⑤ 園部 俊夫(友部)

鹿島神宮弓道大会

と き 四月二九日

ところ 鹿島神宮弓道場

競技内容 射詰四射(一手射詰)

参加者数 高校生七十七名一般九名

表 彰

高校の部

射詰一位 宮内 晃一(潮来)

射詰一位 松本 淳(霞ヶ浦)

団体優勝 ② 伊藤 綾乃(石岡)

③ 岡野 弥幸(土浦工業)

一般の部

射詰一位 池田 秀臣

射詰一位 池田 秀臣

② 高橋 平吉

③ 駒場 康則

団体優勝 千代田支部

第二〇回神栖町弓道大会

と き 五月八日

ところ 神栖町武道館弓道場

競技内容 射詰一手射詰四ツ矢一回

参加者数 団体三人一組(各一手)
高校生五二名一般七十七名

表 彰

高校の部

射詰 優勝 吉田 直弘(常総)

射詰 準優勝 豊崎 光輝(石岡二)

射詰 優勝 長峰 雅志(銚田一)

準優勝 豊崎 光輝(石岡一)

③ 多田さおり(銚子西)

団体優勝 銚田一高Bチーム
(長峰、風間、築場)

一般の部

射詰 優勝 松井 数彦(三菱化学)

準優勝 川瀬 政人(神栖)

射詰 優勝 斎藤 勝美(玉造)

準優勝 小堀 富男(鹿嶋)

③ 萩原 裕一(友部)

団体優勝 八郷チーム
(大波、鈴木、石田)

編集後記

遅くなりましたが弓道いばらき
第二一号をお届け致します。

今回は、昨年昇格された柴田範
士にご寄稿をいただきました。柴
田先生には今後も県内弓道人のご
指導にご尽力をいただけますよう
お願い申し上げます。

県弓道連盟で範士が同時期に五
名も活躍しているということは、
過去にもなかったことであります。
会長も述べられているように、現
在の茨弓連の活動の活発化が、そ
の基礎になっているものではない
でしょうか。今後共、弓道人口の拡
大と審査、各種大会等で良い結果
を出していきたいものです。

前回の本誌特集でも明らかかな
うに弓道の底辺拡大に大きな役割
を果たしているのが各地で開催さ
れている、弓道教室であります。

弓道教室の活動が停滞すること
にでもなると弓道人口の減少はよ
り著しくなると、思われます。

中には、個人的に多くのご苦勞
を抱えて開いている教室もあるよ
うであり、弓連や自治体の強い援
助が望まれます。

今回、東海村の弓道教室を紹介
してもらいました。当教室は設備、
用具、指導者にも恵まれている方
だと思えます。これからの活動を
継続してほしいと思えます。

今回は、苦しい状況の中で活動
している教室を紹介したいと考え
てますので、そう思っている教室
の投稿をお待ちしています。

茨城弓道連盟の歴史の中で昭和
三三年の機関誌の表紙が紹介され
ました。
当時から弓道がされていた方に
は懐かしいものと思えます。

前号で昔の写真掲載したいと
述べましたが、今回は編集部の不
手際で載せることができませんでした。
もし、お持ちの方がいらっしゃ
いましたら是非一報下さい。

また、今回は追授を受けた方も
掲載しました。生前にご活躍され
た先輩であり、ご指導を受けられ
た人も多いと思われます。亡くな
れた先生には、心よりご冥福を
お祈り致します。

現在の本誌はこの形式になって
から相当年が経ちました
編集部としては字を見やすい程
度に大きくしたいと考えています。

次号はもっと親しめる形式と内
容にするよう次の編集者に引き継
いで役を終えたいと思えます。

数年にわたり、心良く玉稿をお
寄せ下さった方、地区連絡員の方
には大変お世話になりました。
心より感謝申し上げます。

平成二年九月 日

編集部 梶山 博正
増田 英一